

目 次

1. マスターズ懇親会へのお誘い
2. 第6回例会・豊潮丸見学と広島湾周遊へのお誘い
3. 市民講座「初めてのフランス語」報告
4. 市民講座「子と親のための『野っ原探検講座』」第1回報告
5. 市民講座「先端技術と工学」の概要
6. 秋の市民講座「バロックの美術と音楽」のお知らせ

1. マスターズ懇親会へのお誘い

来る10月11日(土)、12日(日)の2日間、恒例の酒まつりがJR西条駅前周辺で行われます。昨年の実績によれば、20万人が全国からやってくる東広島市最大のイベントです。

その初日に、昨年と同様、西条名物の美酒鍋をつつき酒盃を重ねながら、会員同士の旧交、新たな親交を深めるため、懇親会を開催します。年に一度の懇親会です。奮ってご参加ください。

記

日時 10月11日(土) 17時30分から、2時間程度予定しております。

場所 ふく政 (西条町岡町6-5 TEL082-424-5700)

西条駅より旧山陽道沿いに西へ徒歩5分

なお、「ふく政」については、ホームページ(<http://fkweb.jp/profile.html>)を御覧ください。

ホームページ上に略図等が掲載されておりますので、ご参照ください。

会費 5千円(当日徴収)

準備の都合上、出欠のご連絡は、10月6日(月)までに事務局までご一報ください。



ふく政料理・懐石料理 ふく政



2. 豊潮丸見学と広島湾周遊へのお誘い 第6回例会のためのご案内

先に「通信」第12号（7月11日発行）及び号外（8月1日発行）においてご案内しましたように、「豊潮丸見学と広島湾周遊」を第6回例会として開催いたします。

豊潮丸（256トン。全長40.50m、幅8.50m、深さ3.70m）は現在4代目で、運行を開始してまだ2年になりません。ピカピカの新船で、写真のような英姿を誇っています。

今秋の一般公開は、10月18日（土）に行われます。この日をマスターズ第6回例会日に当てます。豊潮丸に乗船し、呉湾、広島湾を周遊し、秋の瀬戸内海の風景を5時間ほどゆっくりたのしみましょう。

乗船日時 10月18日（土）10:00～15:00

集合時間 9:45（乗船の15分前）（当日朝の問い合わせ先：090-6403-7583 金田）

集合場所等 広島大学生物圏科学研究科附属練習船基地専用棧橋前（呉市二河川河口付近：地図参照）

15:00同棧橋解散（当地は十分駐車スペースがありますが、便乗をお望みの方は上記金田までご連絡ください。対応いたします。）

携行品 弁当、飲み物等各自持参

現在乗船希望者は22名で、あと10名ほど余裕があります。正式の乗船名簿の提出は9月末日です。参加を希望される方（人数を含めて）は、締切日9月26日（金）、事務局（郵送あるいはFAX 082-493-7981、メールの場合masters@hiroshima-u.ac.jp）までご連絡ください。



3. 市民講座「初めてのフランス語」報告

広大マスターズ市民講座「初めてのフランス語」（前期7～8月、計4回、担当：原野昇）が無事終了しました。受講者は10人（男性1人、女性9人）で多いとは言えませんが、外国語学習には理想的な人数でした。受講者の年齢層は30歳代以下（3人）から70歳代（1人）まで幅広く（40歳代1人、50歳代4人、60歳代1人）、受講の動機もさまざまですが、みなさん非常に熱心で全回出席（途中からの参加者もそれ以降）でした。

なかには毎回すべてを録音して、家で聞き直して勉強している人もいました。ビデオを活用しながら日常の会話を中心に、手製のテキストで文法の基礎も学んでいく内容でしたが、アンケート結果によると、みなさん大いに満足されたようです。

この講座の続きとして、後期にも「フランス語会話と文法」（10～11月、計4回）が開設されますが、これには前期の受講者のみでなく、自分で、または学校その他で、フランス語を6時間以上学習したことがある人も受け入れる予定です。広大マスターズとして初めての外国語

講座なので、回数や頻度など幹事の方々と慎重に相談してスタートしましたが、まずは順調なすべり出しと言ってよいでしょう。(講師：原野 昇)

4. 市民講座「子と親のための『野っ原探検講座』」 第1回報告

市民講座「子と親のための『野っ原探検講座』」は、安藤忠男、沖村雄二、西村清巳、宗岡洋二郎の4会員による連続授業として企画されました。非常に人気が高く、募集を開始すると日を置かずに定員30名がいっぱいになりました。去る8月24日、宗岡講師による第1回「ホタルの川の探検とナマズ釣り」が志和町を流れる関川とその支流で行われました。以下はその報告です。

さわやかな晴天に恵まれ、受講した8組の親子22名を含む28名は志和の里で楽しい一日を過ごしました。午前中は講師の宗岡洋二郎先生から魚の体色変化やホタルの生態・発光のお話と実験、午後からは志和の里を流れる小川で魚とり。最初に宗岡先生から魚の捕り方の手ほどきを受けた後、高学年の子は腰まで水につかりながら関川で、低学年の子は半川などの浅瀬で魚とりに挑戦しました。前日の雨で水量が多く、ナマズこそ捕れませんでした。体長30cmほどのコイや6種類もの魚、エビ、昆虫を捕まえるなどして皆大喜びでした。

3時近くに会場の志和堀公民館に戻ったら、地元のご婦人方が用意してくれたごちそうが待っていました。前日に宗岡先生が釣った体長60cmものナマズのから揚げ、志和のお米のおむすび、地野菜のてんぷらなど盛りだくさんの料理がきれいに皆のおなかにおさまりました。初めて出会った子供達も親たちもすっかり仲良しになり、第2回講座での再会を約束していました。



(当講座世話役 安藤忠男)

5. 市民講座「先端技術と工学」の概要

東広島市の市民の皆さんに最先端の技術を紹介する目的で、「先端技術と工学」というタイトルのもと、産学連携センターから4名の講師が出講し、それぞれの専門分野をやさしく紹介した。まず、7月12日、「最先端のプラスチック」(高田)と題して、「携帯電話、電気製品や日常品には多くの先進的なプラスチックが使われている。具体的なプラスチックをいくつか挙げ紹介した。プラスチックのリサイクルにも触れた。」7月26日には、「先端技術と機械製品」(橋本)と題して「地球温暖化とエネルギー問題が連動しながら課題になっていることについて定量的に解説し、それに対処するための技術的な取組みの事例と、そこに含まれる先端技術を体系的に紹介した。」また、8月9日には、「最先端の繊維科学」(松井)と題して、「旧来の天然繊維から近

代開発された最先端の繊維に至る経緯と用途を解説した。審美性、肌触り、吸湿性に優れた、歴史の古い羊毛、綿、絹につき紹介し、20世紀初めには、発明された取り扱い性の優れたレーヨン、ナイロン、ポリエステル、アクリルなどの化学繊維用途に触れ、更には、近年開発されたアラミドや炭素繊維などの超高強力、難燃性などの最先端の高性能繊維の用途を紹介した。」8月23日には、「情報機器のメカトロニクスー工学の極限を追求する電子機械ー」（三枝）と題して、「メカトロニクス技術は華々しいロボットだけでなく我々の生活に欠かせないところにも使われている。例えばハードディスクなどの情報機器にはこの技術は必須であり、20nmの位置決め精度を達成している。これは工学の極限を追求する電子機械である。」と講演した。参加者が少ないのは残念であったが、最先端の材料、技術に触れた参加者は熱心に聴講し、初期の目的を達成したのではないかと思う。

月 日	担 当	現 職	名 前	講演タイトル
7月12日	広島大学産学連携センター	客員教授 (前教授)	高田忠彦	最先端のプラスチック
7月26日	〃	教授	橋本律男	先端技術と機械製品
8月09日	〃	客員教授 (前教授)	松井亨景	最先端の繊維科学
8月23日	〃	教授	三枝省三	情報機器のメカトロニクスー工学の極限を追求する電子機械ー

(当講座世話役 高田忠彦)

6. 秋の市民講座「バロックの美術と音楽」のお知らせ

広大マスターズ市民講座「バロックの美術と音楽」が、本年10月から下記の日程でスタートします。一部日程の変更もありますので、何卒ご了承下さい。

- | | | | | |
|-----|-----------|------------|------------------|---------|
| 第1回 | 10月04日(土) | バロックの音楽(1) | ーバロックの音響理念を求めて | 講師：原田宏司 |
| 第2回 | 10月11日(土) | バロックの美術(1) | ーフェルメールとその時代 | 講師：金田 晋 |
| 第3回 | 10月18日(土) | バロックの音楽(2) | ー大家の作品に見る合理主義的精神 | 講師：原田宏司 |
| 第4回 | 11月15日(土) | バロックの美術(2) | ー花の絵画と静物画 | 講師：金田 晋 |

各日とも13時30分から15時まで、東広島文化センターで開催されます。締切人数までもう少し余裕があります。ご希望の方は、電話で東広島市生涯学習課(082-420-0979)へお申し込み下さい。

※なお、講師の都合で、「広報東広島」および「広大マスターズ通信瓦版」に掲載した予告日を変更した(「美術」の2回分)ことにご注意いただき、ご了承ください。

広大マスターズへのお問合せ等は、下記宛にしてください。

事務局:739-0043 東広島市西条西本町28-6 サンスクエア東広島3F
 広島大学サテライトオフィス内
 広島大学マスターズ事務局
 TEL: 082-493-7965, FAX:082-493-7981
 (事務局には担当者不在の場合が多いため、TELはできる限り避けて、FAXをご利用ください。)
 E-Mail: masters@hiroshima-u.ac.jp
 URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>